※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校新現代社会（第一学習社）						
副教材等	ニュービジョン現社（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校で学んだ公民の分野の内容をより深く詳細に学習します。特に現代社会の諸問題や政治経済の仕組みについて学びます。
・ニュースや資料を読み込むことで、現代の政治経済にかかわる時事問題について学びます。
・学習した内容と日常生活の出来事とのつながりを発見し、論文の作成や発表を通じて生徒相互の理解を深めます。

２　学習の到達目標

広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに、自ら人間としての在り方、生き方について考える力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治経済に関心を持ち、国家・社会の一員として平和で民主的な社会を実現するために主体的に考える態度がみられ、意欲的に課題の解決に取り組む。	現代の政治経済の諸課題について主体的に考え、その本質を的確に捉えるとともに、その解決に向けた取り組みについて多面的に考察し、客観的な評価ができる。	新聞やインターネットなどを正しくかつ効果的に用い、客観的、公平な立場で自らの一定の見解を持つことができる。	現代の政治経済に関する基本的な事柄や本質について理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業への取り組み （授業発問） 完成した課題を時間厳守で提出 小テスト 定期考査	完成した課題を時間厳守で提出 小テスト 定期考査 発表	完成した課題を時間厳守で提出 小テスト 定期考査	完成した課題を時間厳守で提出 小テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	環境問題	・環境と私たちの生活 ・資源・エネルギー問題と私たちの生活 ・科学技術の発展	○		○	○	a:授業に積極的に取り組んでいるか b:理解した内容に自分の考えを持てているか c:資料を読み込めているか d:語句の意味が理解できているか	・授業発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
一学期	人の生き方	・青年期と自己の形成 ・個人の尊重と法の支配	○	○		○	a:授業に積極的に取り組んでいるか b:理解した内容に自分の考えを持てているか c:資料を読み込めているか d:語句の意味が理解できているか	・授業発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査 ・発表
二学期	民主政治	・現代の民主政治と政治参加の意義	○	○		○	a:授業に積極的に取り組んでいるか b:理解した内容に自分の考えを持てているか c:資料を読み込めているか d:語句の意味が理解できているか	・授業発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
二学期	国際政治	・国際政治の動向と日本の役割 ・現代の経済社会と私たちの生活	○		○	○	a:授業に積極的に取り組んでいるか b:理解した内容に自分の考えを持てているか c:資料を読み込めているか d:語句の意味が理解できているか	・授業発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査 ・発表
三学期	国際経済	・国際経済の動向と日本の役割 ・民主社会に生きる倫理	○	○		○	a:授業に積極的に取り組んでいるか b:理解した内容に自分の考えを持てているか c:資料を読み込めているか d:語句の意味が理解できているか	・授業発問 ・課題提出 ・小テスト ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。